

第48回IRIDeS金曜フォーラム

日時：平成29年8月25日（金）16時30分～18時10分

会場：東北大学災害科学国際研究所1階 多目的ホール（仙台市青葉区荒巻字青葉468-1）

テーマ：「東日本大震災からの復興と再生」

1. 16:30～16:50（発表20分）

タイトル：地域復興に向けた支援の『いま』～みやぎ連携復興センターの取組から

話題提供者：石塚直樹（一般社団法人みやぎ連携復興センター代表理事）

発表要旨：災害からの復興、特にソフト面において求められる支援は、復旧事業の進捗状況、また被災者や被災地域が震災以前より置かれていた状況等によって異なる。本報告では、担い手の育成や連携調整、またコミュニティ再生等、「地域の復興」を主眼に宮城県域を範囲に支援活動に取り組んできたみやぎ連携復興センターの取組事例報告を通し、これまでの成果や課題を振り返り、今後の地域復興に向けた支援の在るべき姿を考察する。

2. 16:50～17:10（発表20分）

タイトル：自治体による震災メモリアル施設整備の現状—仙台市と山元町の事例から

話題提供者：本江正茂（東北大学工学研究科（兼）情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

発表要旨：発表者らが基本計画策定や展示の実装等に関わった、被災自治体の東日本大震災メモリアル施設について、コンセプトから具体的なデザインワークまでを概観する。対象は、仙台市の「せんだい3.11メモリアル交流館」「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」、山元町の「山下地域交流センター防災情報展示コーナー」「山元町立旧中浜小学校」。いずれも地域交流施設と震災遺構とを一対と位置付け、市民の積極的・持続的な参加を志向するものとなっている。

3. 17:10～17:30（発表20分）

タイトル：東日本大震災からの復興まちづくり法制に関する研究

話題提供者：島田明夫（東北大学公共政策大学院（兼）人間・社会対応研究部門 防災法制度研究分野）

発表要旨：2015年度に、災害科学国際研究所と公共政策大学院との共同研究の形で、東日本大震災からの復興まちづくりについて、公共政策大学院生と一緒に実地調査を行い、提言をまとめた。

本日は、特に名取市閑上と女川町中心部の復興まちづくりの手法等について比較検討することによって、土地区画整理事業と防災集団移転促進事業を重複適用する、「女川モデル」を今後の南海トラフ地震等における復興まちづくりの手法として提言を行った。

4. 17:30～18:00 質疑／総合討論（30分）

5. 18:00～18:10 事務連絡等

司会・進行：岩田司（地域・都市再生研究部門 都市再生計画技術分野）